

(一般情報)

水稻-麦-大豆でスマート農業の体系化を目指して！

～スマート農機実演会の開催～

香取農業事務所改良普及課 令和元年6月26日発

神崎町スマート農業実証プロジェクト研究会は、国の「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト事業」を活用し、水田での低コスト生産と規模拡大に向けて実証を行っています。6月11日には、実証農場である(農)神崎東部のほ場で、ロボットトラクタやロボットコンバイン等の導入機械の実演と事業説明を行いました。また、隣接ほ場では、(株)関東甲信クボタによる実演会も行われ、併せて約400名の参加がありました。

(農)神崎東部の代表からは、「スマート農機をフル活用した経営を目指していきたい」と挨拶がありました。また、参加者からは、「神崎町役場に設置したRTK基地局(※)を使うと位置情報の精度はどの位上がるか」などの質問があり、スマート農業への関心の高さが伺えました。農業事務所では、今後も神崎町スマート農業実証プロジェクト研究会の一員として実証を支援し、香取地域における大規模輪作体系の確立をめざします。

※RTK基地局：ロボットトラクタ等に位置を補正する情報を送信する施設。cm単位の精度の高い測位が可能となる。RTKは、リアルタイム・キネマテックの略。



自動運転のロボット汎用コンバイン



人形の前で自動的に止まる
無人ロボットトラクタ